

2013特別見学ツアー報告書

[高山寺収蔵庫]

この建物が収蔵庫/現地では法鼓台文庫と呼ばれている/北面を見る



南面を斜面下から見上げる



西面を見る/入口はこの反対側(東面)にある



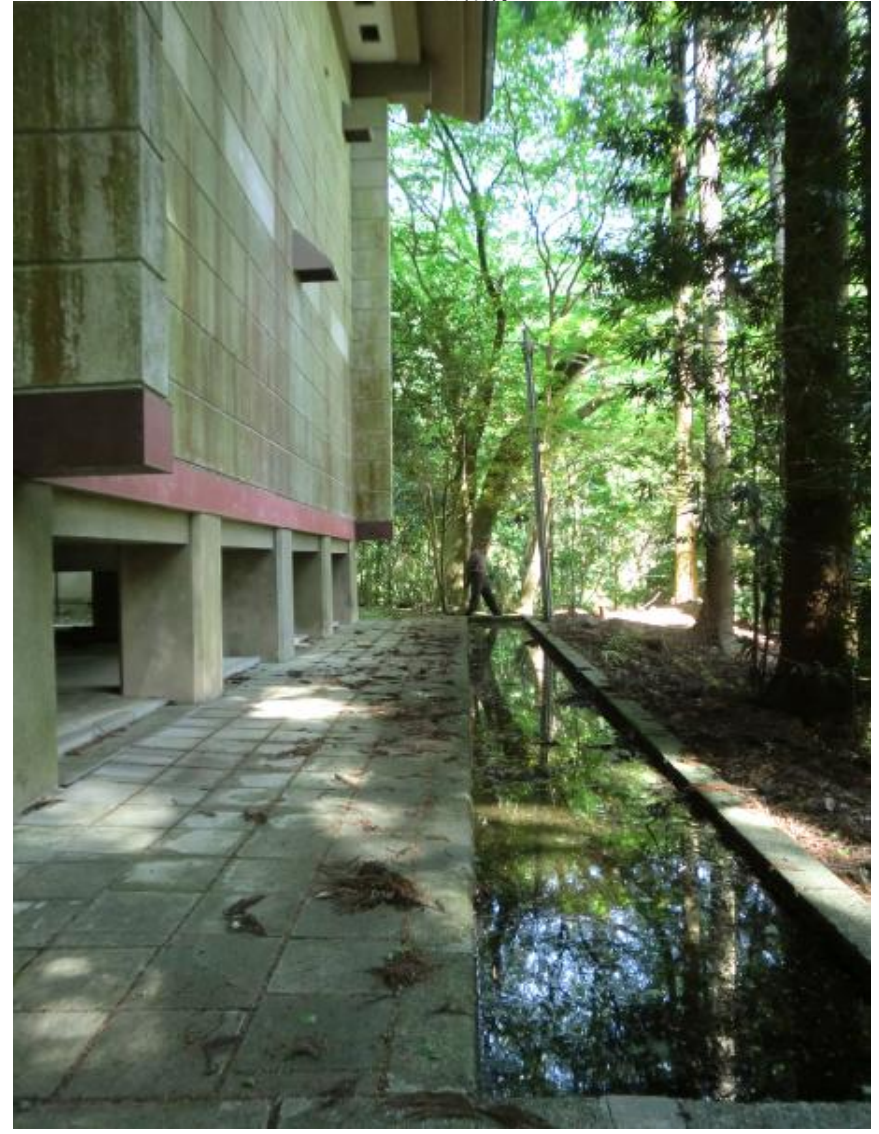
妻面の豕扱首のデザインが見てとれる/外壁は校倉造のイメージであろうか



二軒形式の軒のデザイン



雨落溝



軒下を見上げる/換気口が配列されている



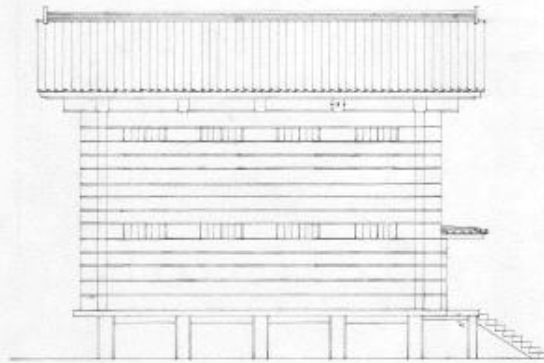
收藏庫入口/東面





設計圖

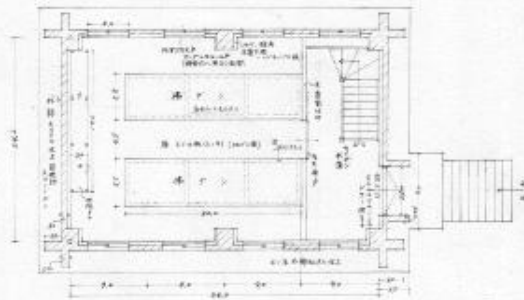
高山寺收藏庫概観



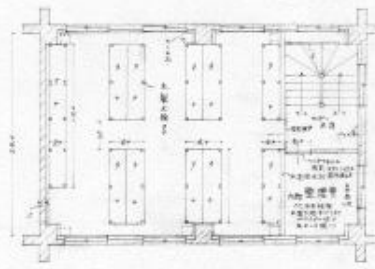
左面



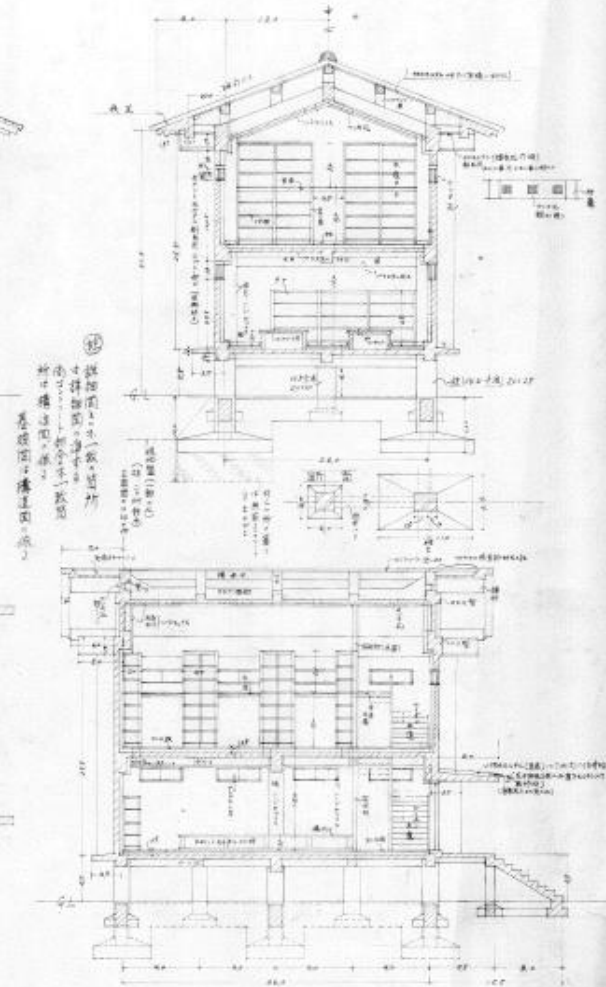
右面



1階平面 24.5



2階平面 24.5

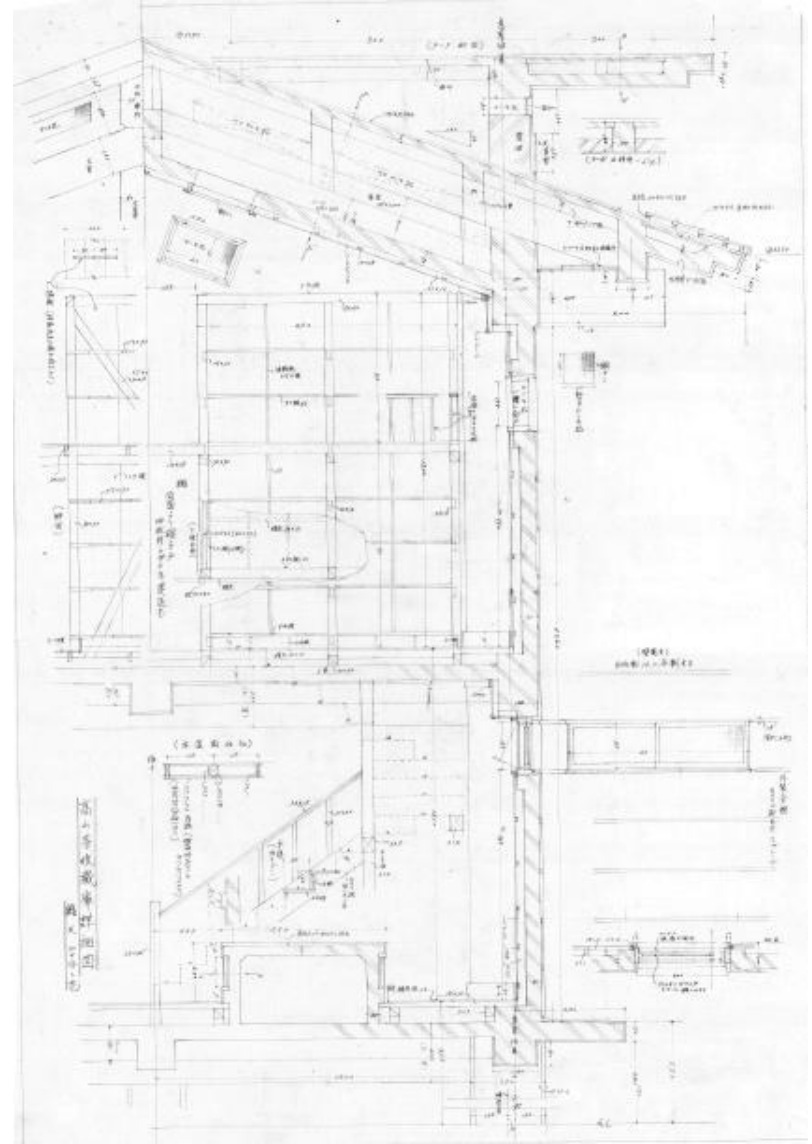


概観図上の外観は、
本館の概観図と一致
するが、本館の概観
図とは異なる部分
がある。

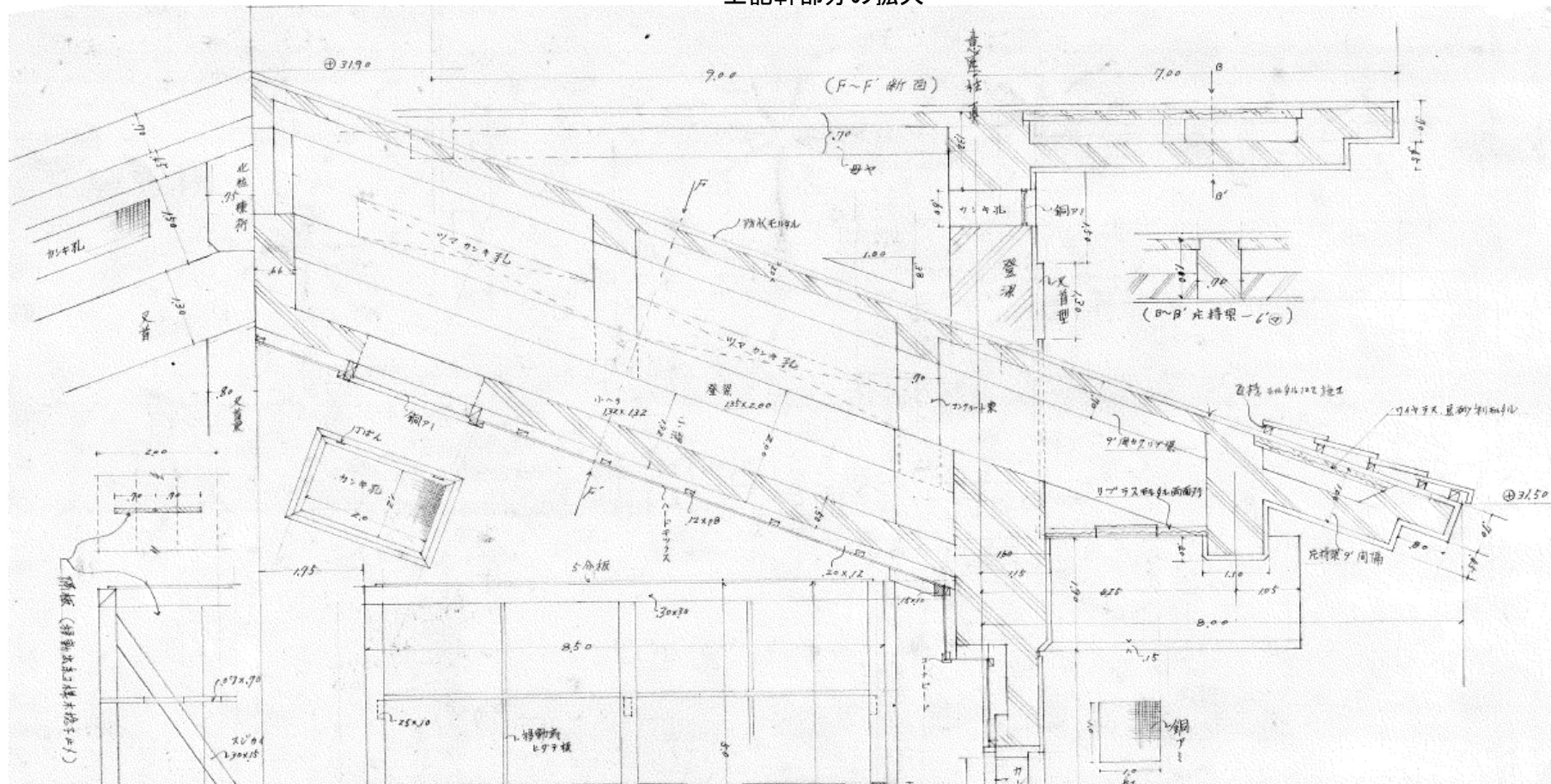
仕上表の一部

概要	
高小寺收藏庫新築工事仕様書及仕上表	
鉄筋コンクリート造二階建	
建坪 柱間々 二十四坪 延坪 四八坪	
(註)	<p>老階床を地盤より六尺高と又屋根を二重とした 桁行 灰々 三十六尺 梁行 ヲカ 二十四尺 軒高 三十一尺五寸</p> <p>日本瓦(枚瓦)葺 コンクリート下地はセメントモルタル塗り太目地切 壁とし部材(柱桁軒廻)等はコンクリート下地 にセメントモルタル塗りとし全般刷毛引仕上の上 スプレーガンを施す 但し床(縁床及外サカシ) はモルタルコテ押とす、老階床の下端はコンクリート 面のままとす</p> <p>佛壇室及二階收藏室はコンクリート下地に木造 壁(ハドチツウス張)取設けカイカン室及調査 室はコンクリート下地及木造木ツリ下地にアラエリ 塗り仕上とす、天井は二階收藏室ハドチツウ ス張りとする他はアラエリ塗り仕上とす 床は全部コンクリート床の上に乾し床とす木造 架橋拾縁甲板(六名有)を張る 高二階に收藏棚の出し入れの便宜を計り 中二階式歩み床を木造にて設ける</p>
内装	
屋根	
外装	

断面詳細図



上記軒部分の拡大



中央の高いRC造の建物が収蔵庫(法鼓台文庫)



さて、他の建物も回ってみよう



標柱には史跡高山寺境内とある



高山寺

梅尾山と号する真言宗の寺で、釈迦如来を本尊とする。平成六年（一九九四）に世界文化遺産に登録された。

寺伝によれば、宝亀五年（七七四）、光仁天皇の勅願によって開創され、当初、神願寺都賀尾坊と称したが、建永元年（一二〇六）後鳥羽上皇の院宣によって、明恵上人が華嚴宗復興の道場として再興し、寺名を高山寺と改めたと伝えられている。

広い境内（国の史跡）には、石水院（国宝）、開山堂、金堂などが建ち並び、中でも石水院は、鎌倉時代初期の寝殿風住宅建築で、後鳥羽院の賀茂別院を移築したものといわれている。寺宝は数多く、鳥羽僧正筆とされる「鳥獣人物戯画」をはじめ、「明恵上人樹上坐禅図」など国宝八点、重要文化財約一万点が所蔵されている。

また、境内の茶園は、鎌倉時代初期に明恵上人が栄西禅師から贈られた茶種を植えた所で、ここから全国に茶が普及したといわれている。この由緒から、毎年十一月八日には、宇治の茶の製造業者から新茶が上人廟前に献上される。

右手の銘板は高山寺が平成6年(1994年)に世界遺産に登録されたことを表している



石段を登って行くと右手に国宝の石水院の建物がある



ここをくぐって石水院へ向かう



正面は客殿



客殿～石水院の内部を見ていく



右手が石水院







石水院/国宝/鎌倉時代初期の寝殿風住宅建築/入母屋造/柿葺







当時のままの天井板という



長押には手斧(ちょうな)の跡がそのまま残っている



さて、石水院を出て上に向かう



右手の標柱には仏足石への道とある



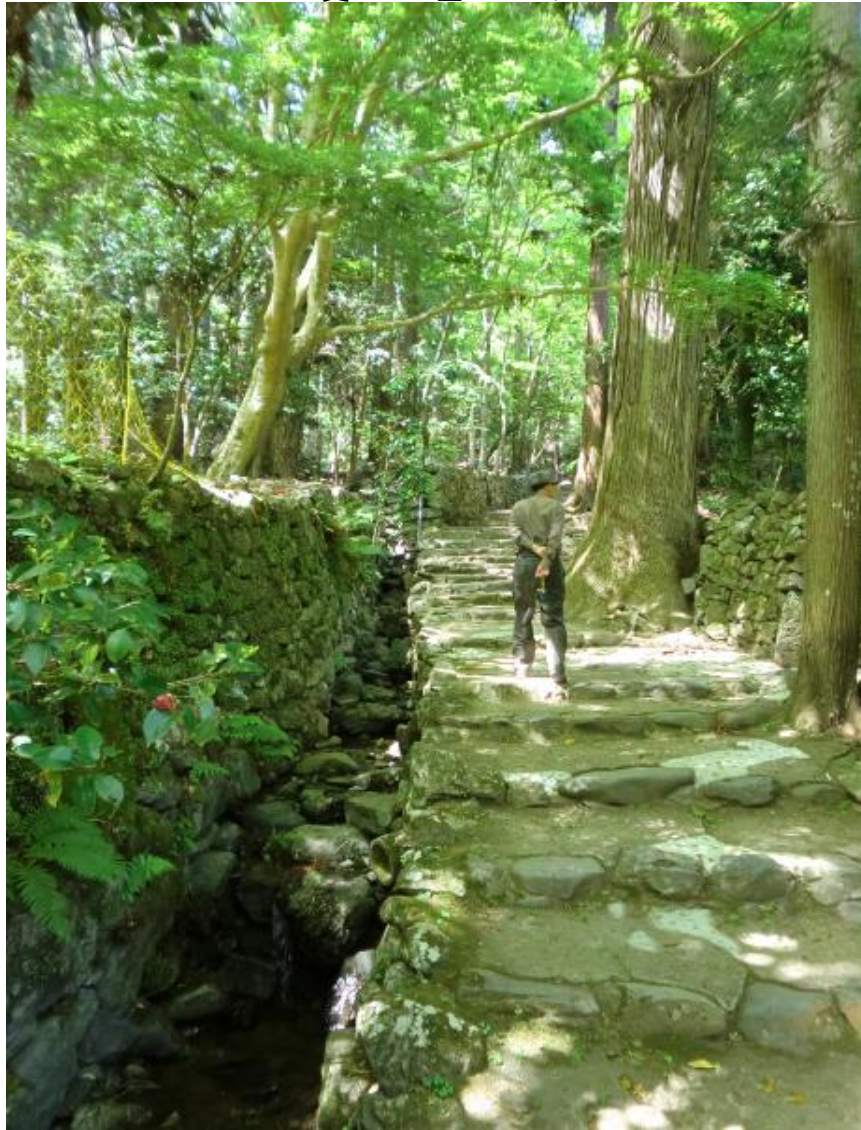
左手の説明板



庭園にはここを歩いていく



更に上に登っていく



ここは開山堂/重要文化財/江戸時代











正面の白い建物は倉庫であるが、この中で鳥獣人物戯画(国宝)を発見したのだという





この先は開基明恵上人の御廟



正面が明恵上人の御廟/左手前に宝篋印塔北塔(重要文化財/鎌倉時代中期)の上部が見える



そのすぐ右手には如法経塔(重要文化財/鎌倉時代後期)も見える



宝篋印塔北塔
↓

如法經塔
↓





さて、少し進むと仏足石がある



仏足石



更に登っていくと前方には金堂が見えてくる



金堂/江戸時代















縫破風部分







宝塔



春日明神



年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和35.03	1960	高山寺 収蔵庫	京都府 京都市右京区	昭和35.03～35.12	松浦弘二	小野薫・佐治泰次	北尾組	RC造



インターネットより